

2023年5月度の観察記録

カテゴリ : 2023年

_MD_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2023-5-14

2023年5月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"  
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

2023年5月14日(日) 9:30~11:30 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子
写真協力: 伊藤義人氏

参加者: 大人21名, 子ども23名 天気: 雨 久しぶりに終始傘をさして歩く観察会となりました。雨に濡れた木々や草花もまた美しく、道すがら出会う生きものの姿も色鮮やかに映りました。初めての参加の親子も加わり、ゆったりとくらしの森を歩きました。中道を歩き始めると、子どもたちがさっそくカエル池で生きもの探しを始めました。持参の水網にはヌマエビの仲間と小さなアメリカザリガニがかりました。カエル池のほとりでは白い花をたくさん咲かせたノイバラが目立ちました。





ヌマエビの仲間 アメリカザリガニ ノイバラ

雨の日の観察会は例外なく多くのカタツムリに遭遇します。この日も至る所でイセノナミマイマイが活動していました。マサキの花はまだつぼみばかりで、咲いている花はありませんでした。すぐそばのクワは先月花が咲いていましたが、この日は実が少しずつ熟し始めていました。すでに黒くなり始めている実もあり、今年は熟す時期が例年よりも早いのかもかもしれません。

雨の日の観察会は例外なく多くのカタツムリに遭



イセノナミマイマイ マサキ クワの実 そのクワの葉にキジラミがたくさん発生していて、それを捕食するハラグロオオテントウの幼虫も多数見られました。大坂池の周りの樹木を観察しました。アンズやウメは実が大きくなっていました。イボタノキの花はちょうどほころび始めたところでした。カキノキにも花が咲き、小さな実もつき始めていました。



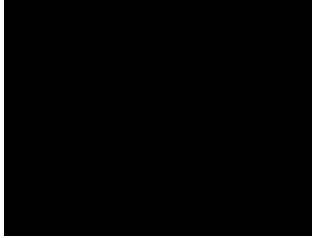
ハラグロオオテントウの幼虫 イボタノキの花 カキノキの花 コバネイナゴを捕らえた参加者がいました。この時期にしてはずいぶん大きくなっているとの声が聞かれました。ソヨゴの小さな白い花は目立ちませんが可憐な印象でした。参加者の大学生がアリグモの仲間を見つけて紹介すると、みんな口々に、教えてもらわなければアリと思って見過ごしてしまうと感心していました。



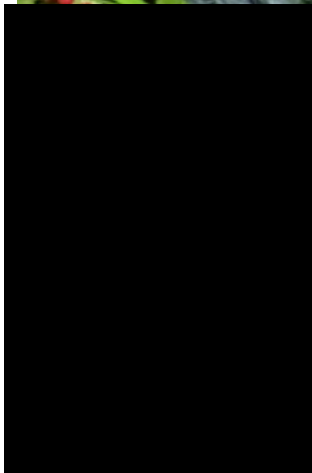
コバネイナゴ ソヨゴの花 アリグモの仲間
グモについて新しく学ぶことができました。ワカバグモは網を張らないクモで、これまで自然観察会ではよく見かけてきましたが、その雌雄の区別について取り上げられたことはなかったように思います。参加者の大学生がワカバグモのメスとオスを示してそのはっきりとした外見上の違いを教えてくださいました。

この日多くのクモを見かけました**ワカバ**でも





ワカバグモ() ワカバグモ() ~~ヘビイチゴ~~が大きな実をつけていました。食べても害はないけれども味もないとのことでしたが、犬の散歩のコースであることも考えて、食べてみるのはやめておきました。



ヘビイチゴ ~~中道港~~は白いつぼみが下向きについているのを観察しました。大きく膨らんで、もう間もなく開花すると思われました。畑の近くで早春に花の香りを楽しんだソシンロウバイには偽果がたくさんついていました。例年よりも数が多いように感じられると複数の参加

者が話していました。

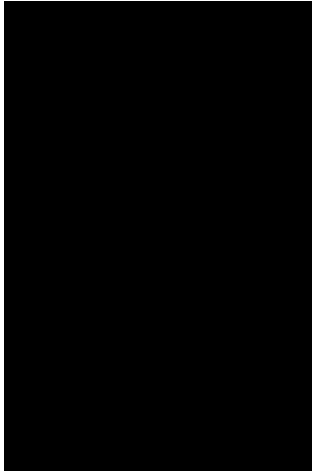


ネジキのつぼみ ソシンロウバイの偽果

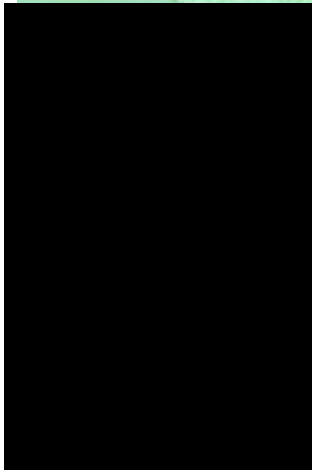
、田んぼには寄らず湿地の方から帰り始めることにしました。湿地の中ほどに、実生のナンキンハゼが樹高1mほどに育っていて若葉が赤くなっていました。ナンキンハゼは秋になると赤く紅葉しますが、この季節の赤い葉もまた美しいという感想が聞かれました。

この日の田んぼは、代掻きの講座を開催中だったので

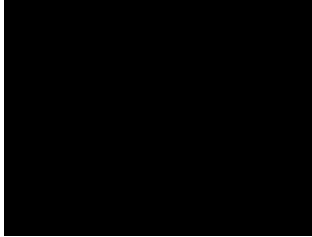




ナンキンハゼ 先月はたくさんのナナホシテントウが活動していましたが、この日はそれほど数多くは見られませんでした。ミソハギの葉の上で蛹になっているナミテントウを見つけました。



ナミテントウの蛹 **カキツバタ**の花を見ていると近くに**キショウブ**も咲いているのに気づきました。どちらもアヤメ科の植物ですが、キショウブは日本の侵略的外来種ワースト100に指定されていて、繁殖力が強い上に在来植物との交雑など、生態系への悪影響が懸念されるために東山の森では駆除の対象となっています。サワフタギの葉には多くの食痕が見られ、少し探すと複数の**シロシタホタルガの幼虫**が見つかりました。いつものように「ネコパス」と紹介すると、1人の参加者が「窓が多すぎる」と言ってみんなを笑わせました。



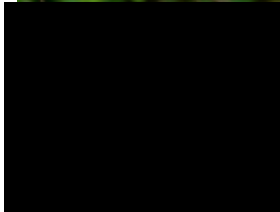
カキツバタとキショウブ シロシタホタルガの幼虫
ラスノエンドウの背丈が伸び、中にはさやが熟して黒くなっているものもありました。そのカラス
ノエンドウにはアブラムシがびっしりとついているものも多く見られ、それを捕食するナナホシテ
ントウの幼虫も見つかりました。

里の道を通って帰りました。草むらではカ





アブラムシを捕食するナナホシテントウの幼虫
エノキの葉を調べると、食痕やイモムシの抜け殻などが見つかりました。ヒオドシチョウの幼虫のものであろうと言う参加者がいて、よく探すと近くの杭にぶら下がっている蛹を見つけることができました。道沿いのサラサウツギは満開の花を咲かせていました。



ヒオドシチョウの蛹 サラサウツギ 雨の日の平和公園は訪れる人も少なく、静かな休日の風景の中での自然観察会となりました。大勢の参加者が集まる好天の日の開催とはまたひと味違った森歩きを楽しみました。

平和公園での観察項目：カエル池, ムクドリ, ノイバラ, タテシマノメイガの幼虫によって綴られたヨシ, ヌマエビの仲間, アメリカザリガニ, マサキ, クワの実, ハラグロオオテントウの幼虫, ナナホシテントウ, セアカヒラタゴミムシ, ツバメ, ヒメコバンソウ, アンズ, ウメ, カキノキの花, タラヨウ, シロカネグモ, 菌類?, ハンノキ, コバネイナゴ, ヤナギハムシ, オオカマキリの幼虫, ソヨゴ, ワカバグモのオスとメス, ヘビイチゴ, イセノナミマイマイ, クコ, アリグモ, コバノミツバツツジ, ネジキ, ソシロウバイの偽果, ナンキンハゼ, カルガモ, ナミテントウの蛹, ノメイガの仲間, コマユバチの繭, オヤブジラミ, アカメヤナギの綿毛, 田んぼの代掻き, せせらぎ, カキツバタ, キショウブ, シロシタホタルガの幼虫, サワフタギ, イチモンジセセリ, 鳥の巣, ガマズミ, アブラムシにたかられたカラスノエンドウ, ザトウムシ, アブラムシを捕食するナナホシテントウの幼虫, ヒオドシチョウの蛹, オジロアシナガゾウムシ, サラサウツギ, タニウツギ, ヒメジョオン, ツマグロオオヨコバイ, イボタノキ, ウグイスの声
?